

～デンマークにおける福祉システム～ 認知症への取り組み

参加申込
受付中!!

認知症はデンマークにおいても国民の共通の課題であり、高い生活の質を維持することは大変に重要です。デンマークは高齢者の生活についての三原則、すなわち、「尊厳、自立、残存機能の活用」が生活の質を表す目安とされています。

医療・福祉のための全体的な法的ガイドラインを作るのは国の役割であり、責任です。一方、自治体（市町村）は認知症の方々のニーズに応えるよう努力をする責任があります。ネストヴェズ市では認知症の方々の生活の質の向上、維持のため、様々な試みや対応を行ってきました。たとえば、介護スタッフの教育、様々な介護サービス、認知症の方にフレンドリーな環境作りなど。

今回はネストヴェズ市で実際に施策、介護に携わっている3人の講師が、戦略、経験、デンマークの認知症ケアへの現在の取り組みについて話します。

1. 基調講演

①デンマークにおける認知症施策の方向性

カレン・ハイルマン・レナート氏（デンマークネストヴェズ市 行政担当者）

②認知症ケアの実践

ソーニャ・ミュラー・クリステンセン氏（デンマークネストヴェズ市在宅介護・看護地域責任者）

2. シンポジウム

参加者を交えた意見交換会

カレン・ハイルマン・レナート氏、ソーニャ・ミュラー・クリステンセン氏、三浦 研氏

〈参加要項〉

- ・会場／大阪歴史博物館 講堂
大阪府大阪市中央区大手前4-1-32
- ・定員／150名
- ・会費／会員 無料、非会員 1,000円
- ※当日の入会申込も受け付けます。

2014年4月21日(月)
14:00～16:30

会場：大阪歴史博物館講堂

大阪市中央区大手前4-1-32

カレン・ハイルマン・レナート氏

- 社会福祉士として各自治体およびレジオン（県に相当）でコンサルタントとして勤務。自治体では福祉戦略策定、政策策定、プロジェクトコーディネーター、民間と公的組織のコーディネーターなどを担当。認知症への革新的な公的機関と民間機関との協力プロジェクト、認知症の方々の家族や隣人とのプロジェクトなど。



ソーニャ・ミュラー・クリステンセン氏

- 看護師および経営学士。複数のデンマーク自治体で、在宅介護・看護の地域責任者として勤務。地域責任者として、介護・看護の計画策定、品質管理、介護・看護の改革、人事などを担当。認知症施策の準備と提案に携わる。



マリア・サンタナ氏

- 国際コンサルタント。経営学部にて行政組織学士を取得。民間会社にて販売促進、販売課長、語学教師ののち、国際関係の担当としてネストヴェズ市に勤務。教育研修プログラムや国際関係プロジェクトのスーパーバイザー。出身はスペイン。



三浦 研氏

- 大阪市立大学大学院生活科学研究科居住環境学講座・教授。93年京都大学卒、日本学術振興会特別研究員、京都大学大学院工学研究科助手、大阪市立大学准教授を経て13年から現職。環境行動理論に基づく高齢者施設や住宅の計画・研究に取り組む。10～13年国土交通省高齢者・障害者・子育て支援世帯居住安定化モデル事業選定委員会委員。



■お問い合わせ・ご予約は

NPO法人 **福祉フォーラム・ジャパン** Tel.03-5388-7260 <http://www.ff-japan.org/>

〈会場案内図〉

会場
 大阪歴史博物館 講堂
 大阪府大阪市中央区大手前 4-1-32

▼電車でご来場の方は

- ・地下鉄谷町線 中央線「谷町四丁目駅」
9号出口前
- ・大阪市営バス「馬場町」バス停前



参加申込書

送信先 NPO 法人 福祉フォーラム・ジャパン事務局 行

(FAX) 03-5388-7210 (E-mail) ffjinfo@ff-japan.org

お申込期限 4月16日(水) ※ただし定員になり次第締め切りとさせていただきます。

*福祉フォーラム・ジャパン会員様は、お名前と会員No.のみご記入のうえ送付ください。
 非会員の皆様は全ての項目にご記入のうえ送付ください。

フリガナ			
お名前		会員 No	
所属		役職	
ご住所	〒		
ご連絡先	Tel.	Fax.	
	E-mail		

当日お聞きしたい質問があれば、事務局であらかじめ確認して講師に依頼いたしますので、具体的にお書きください。
 (質問が多数の場合には会員の方の質問を優先させていただきますのでご了承ください)